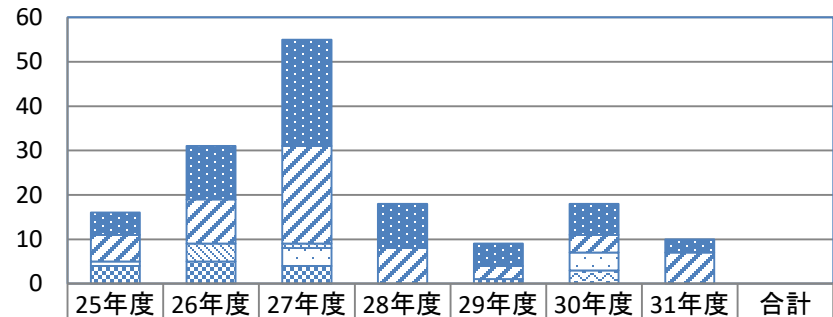


東京都胎児救急搬送システムによる搬送事例の状況 (平成25年11月1日から令和元年11月30日報告受理分 157件)

1 要請理由

○常位胎盤早期剥離、早産期の胎児機能不全を要請理由としたものが、約8割であった。

n=157 (母体)



要請理由	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	合計
総計	16	31	55	18	9	18	10	157
■ 常位胎盤早期剥離	5	12	24	10	5	7	3	66
▨ 早産期の胎児機能不全	6	10	22	8	3	4	7	60
▩ 常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	0	4	1	0	0	0	0	5
□ 正産期の胎児機能不全	1	0	4	0	0	4	0	9
☒ その他	0	0	0	0	0	3	0	3
☒ 無記入	4	5	4	0	1	0	0	14

2 要請から病院到着まで

○時刻が分かっている131件うち、児の死亡率や低酸素性脳障害の低減に効果的と考えられる、1時間以内に搬送された件数は80件、61.1%であった。
 ○常位胎盤早期剥離62件のうち、1時間以内に搬送された件数は41件で、66.1%であった。
 ○131件の病着までの時間の平均は約55分であった。

要請理由	要請から病着までの時間						データ数
	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	不明	
常位胎盤早期剥離	11	26	15	4	1	9	66
早産期の胎児機能不全	2	23	16	3	2	14	60
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	1	3	1	0	0	0	5
正産期の胎児機能不全	1	6	1	0	0	1	9
その他(1)・無記入	1	6	5	2	1	2	17
合計	16	64	38	9	4	26	157

3 アプガースコア

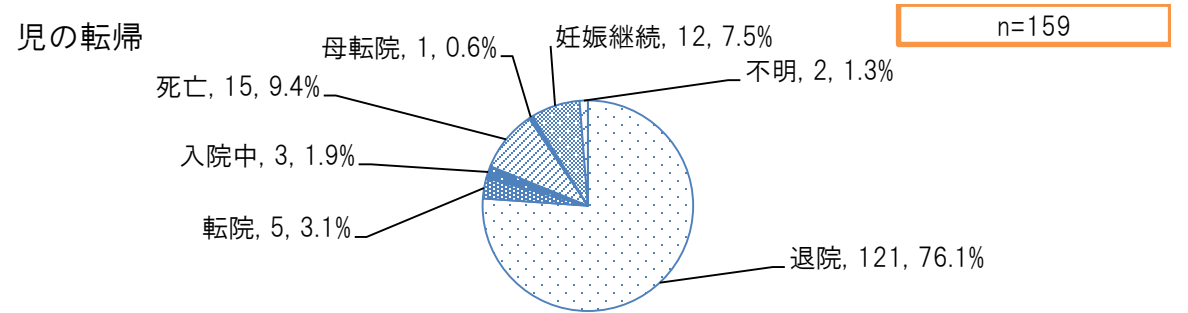
○アプガースコアの判明している142人のうち、5分後のアプガースコアが正常と診断される7点以上は97人(61.0%)であった。

要請理由	AP1分後	0～3点	4～6点	7点以上	不明	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離	19	9	33	2	3	66	
早産期の胎児機能不全	19	16	15	2	8	60	
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	3			1	1	5	
その他・無記入	6	7	15			28	
総数	47	32	63	5	12	159	

要請理由	AP5分後	0～3点	4～6点	7点以上	不明	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離	6	7	48	2	3	66	
早産期の胎児機能不全	7	13	28	4	8	60	
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	1	2		1	1	5	
その他・無記入	2	5	21			28	
総数	16	27	97	7	12	159	

4 児の転帰等

○児の転帰は退院が121人(76.1%)、転院が5人(3.1%)であった。
 ○死亡した15人のうち、4人は早期搬送しても救うことは困難であったと思われる案件であった(染色体異常等)。
 ○母が死亡したものはなかった。



要請理由	退院	転院	入院中	死亡	母転院	妊娠継続	不明	合計
常位胎盤早期剥離	56	1		4		3	2	66
早産期の胎児機能不全	36	2	3	10	1	8		60
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	4					1		5
正産期の胎児機能不全	8	1						9
その他(1)・無記入	17	1		1				19
合計	121	5	3	15	1	12	2	159